

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝炎ウイルス陽性者の follow up 率と予後調査		
② 実施予定期間	2018年6月8日から2026年3月31日 当院は当院の実施許可後に研究を開始します。		
③ 対象患者	<p>① 2014年までに肝臓内科に受診した抗ウイルス剤を使用されていないB型肝炎患者さん</p> <p>② 2016年までにインターフェロンや経口抗ウイルス剤によりウイルス排除に成功したC型肝炎患者さん</p> <p>なお、当院は先行研究H30-203「肝炎ウイルス陽性者の follow up 率と予後調査（研究課題名は同じ）」の患者さんが対象となります</p>		
④ 対象期間	2010年1月1日から2016年12月31日まで なお、追跡期間として2014年4月1日～2025年3月31日までのデータを収集します。		
⑤ 研究機関の名称	別添		
⑥ 対象診療科	肝臓内科		
⑦ 研究責任者	氏名	佐々木 嶺	所属 肝疾患センター（第一内科）
⑧ 使用する情報等	日常診療において得られた情報のうち、患者さんの背景（年齢（生年月日）、性別、継続受診の有無、継続受診機関、受診中断理由、肝がん合併の有無、合併症）を収集します。		
⑨ 研究の概要	<p>治療の進歩により経口薬のみで肝炎ウイルスがコントロール可能となった一方で、B型肝炎からは投薬の必要のない肝機能の正常な患者さん、また、C型肝炎ウイルス排除後の患者さんからの肝発がんが少なからず認められています。肝発がんの早期発見のためには定期検査が重要ですが、医療機関における定期受診率は明らかになっていません。本研究では肝臓専門医での定期受診率を明らかにすることを目的とし、患者さん情報を匿名化したうえで、国立国際医療研究センターに提供し、通院が中断してしまう理由や通院中の発がん率も検討することで、今後のよりよい定期検査の実施や治療後の課題の抽出等に役立てます。なお対象となる患者さんは先行研究H30-203の研究で対象となる患者さんと同一であり、同研究で情報を提供した後の情報を主施設に提供します。</p>		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年12月16日	
⑪ 研究計画書等の	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及		

閲覧等	知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	上記にて公表する場合、個人情報が特定されることはありません。なお、受診日や発がん等の様々な事象の発生状況について、単に年齢でなく、発生日と生年月日から算出するのが正確なため生年月日の情報を主施設に提供します。公表にあたっては生年月日情報が記載されることはなく、個人情報を特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	厚生労働科学研究費を用います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 佐々木 嶺		
	電話	0836-22-2241	FAX 0836-22-2240

研究組織

研究代表者：

国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター
肝疾患研修室長/第一肝疾患室医長
是永 匡紹

研究協力施設/研究協力者

北海道大学/小川浩司
山形大学/上野義之
東北大学/井上淳
仙台厚生病院/近藤泰輝
群馬大学/柿崎暁
東海大学/立道昌幸
横浜市立大学/斉藤聡
東京慈恵医科大学/柳澤裕之
武蔵野赤十字病院/板倉潤
埼玉医科大/持田智
千葉大学/島井健一郎
信州大学/松本昌博,
山梨大学/坂本穰
新潟大学/寺井崇二
順天堂大学附属静岡病院/玄田拓哉
浜松医科大学病院/小林良正
愛知医科大学/米田正人
名古屋大学/石上雅敏
藤田保健衛生大学/吉岡健太郎
名古屋市立大/井上貴子
岐阜大学/末次淳
富山県立中央病院/酒井明人
金沢大学/島上哲朗
大阪市立大学/榎本大
岡山大学/池田房雄
福山市民病院/坂口孝作
鳥取大学/的野智光
島根大学/佐藤秀一
山口大学/大野高嗣

下関医療センター/山下智省

愛媛大学/日浅陽一

香川県立中央病院/高口浩一

久留米大学/井出達也

佐賀大学/江口有一朗

宮崎大学/永田賢治

大分大学/本田浩一

船橋中央病院/横須賀収

札幌医科大学/廣田健一